

誕釀、興こし酒。



命名、「絆結」

き
ゆ





純米大吟醸

絆結

岩手、宮城、福島、熊本
四県産掛け米仕込み

興こし酒

岩手・宮城・福島・熊本の
被災4県の“絆”から起ち上がった
「興こし酒プロジェクト」

地域とともに歩む信用金庫では、日本全国に広がるネットワークを活かして、平成24年から「よい仕事おこしフェア」と題し、社会貢献を目的としたビジネスフェアを毎年開催して、被災地の復興応援に取り組んでいます。「2017“よい仕事おこし”フェア」では、これまでのフェアで結ばれた、岩手・宮城・福島・熊本の被災4県の“絆”のシンボルとして、震災からの復興創生を願い、力を合わせて酒造りに取り組む「興こし酒プロジェクト」を企画しました。

4県産のお米をブレンドし
復興創生の想いが込められた
興こし酒 絆結(きゆ)

岩手、宮城、福島、熊本の各県で収穫したお米をブレンドし、復興創生への願いやこれまでの支援に対する感謝の気持ちを込め、明るい未来へ進む絆の結晶として、興こし酒“絆結”(きゆ)は誕生しました。“絆結”は、震災をきっかけに各地の人々が強い絆を結んでほしい、日本酒ならではの「きゅっ」と一杯飲んで欲しいという思いから名付けられました。“絆結”を飲み交わしながら、明るく元気な日本の未来について想いを馳せていただければ幸いです。

純米大吟醸

絆舞



興こし酒プロジェクト～第二章～ 47都道府県のがが集結

地域に寄り添う信用金庫では、全国のネットワークを活かして、平成24年から「よい仕事おこしフェア」と題し、社会貢献を目的としたビジネスフェアを毎年開催して、被災地の復興応援に取り組んでいます。

2017年の「よい仕事おこし」フェアでは、信用金庫の絆で結ばれた、岩手・宮城・福島・熊本の被災4県の復興のシンボルとして、「興こし酒プロジェクト」に取組み、4県産のお米が見事に融合して、興こし酒“絆結”(きゆ)が生まれました。

2018年の「よい仕事おこし」フェアでは、「興こし酒プロジェクト～第二章～」として、2017年と同様に“絆結”造りに取り組むとともに、地域連携の輪を日本全国に広げ、47都道府県産のお米をブレンドし、全都道府県の想いがひとつになって、興こし酒“絆舞”(きずなまい)が新たに誕生しました。

“絆舞”の命名には、飲めば思わず舞い踊りたくなるようなお酒に仕上がって欲しいという願いが込められています。また、「舞(まい)」と「米(まい)」を掛けており、「絆米」、まさに「お米の絆」であり、47都道府県のお米が絆で結びついたことで出来上がったお酒であることを表しています。

日本全国の方々が、この“絆舞”を飲み交わしながら、明るく元気な日本の未来について想いを馳せていただければ幸いです。